

CPEクレジット クイックガイド

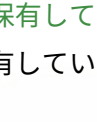
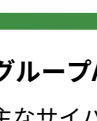
CPE ルール | アクティビティ | 申請 について

継続専門教育(CPE)は、専門性の成長と卓越性へのパスポートです。CPEによって、苦労して獲得した認定資格とメンバーシップを維持できます。

本ガイドは、CPEクレジット要件を理解し、アクティビティを活用し、効果的なCPE計画を実行するために必要なロードマップです。CPEを通じてキャリアを新たな領域に飛躍させる旅に出ましょう！

認定資格とメンバーシップの維持要件の詳細なガイダンスと、以下に記載の各トピックの詳細な説明については、CPEハンドブックを参照してください。

認定資格別 CPE要件

認定資格	CPEタイプ	推奨される 年間 取得CPE数	3 年間の合計
	グループA グループAまたはB 合計	15 - 15	45 - 45
	グループA グループAまたはB 合計	30 10 40	90 30 120
 	グループA グループAまたはB 合計	20 10 30	60 30 90
 	グループA グループAまたはB 合計	15 5 20	45 15 60
  			
CISSPを保有している場合	グループA	20	60
CISSPを保有していない場合	グループA	47	140

一般的なCPEのルールとガイドライン

グループAおよびBのCPEクレジット

CC保有者：グループAのみ

グループA

主なサイバーセキュリティ活動
認定資格のドメイン領域

例: 認定資格トレーニング、
サイバーセキュリティカンファレンス
CC保有者：グループAのみ

グループB

サイバーセキュリティに関連しない
一般的な専門能力開発活動

例: リーダーシップ研修、
クリティカルシンキングコース

CPEクレジットの計算方法

- 1 時間あたり1 CPE、1 アクティビティにつき最大40 CPE。
- 0.25、0.50、および0.75単位で申請が可能。
- アクティビティの終了日によって、CPEが適用される 周期が決まります。

複数のISC2資格をお持ちですか？

提出したCPEアクティビティは、すべての資格の関連ドメインに適用されます。

CPEクレジットの繰り越し

- 要件を超えるグループAのCPEクレジット。
- グループBのクレジットは繰り越せません。認定サイクルが終わる直近6か月以内に取得する必要があります。
- 繰り越すことができるクレジットの最大数は、推奨される年間取得数と同じです。
例：CISSPは最大40CPEを繰り越し可能。

リニューアル

CPEアクティビティの提出 + すべての年会費（AMF）の支払い完了 = おめでとうございます！

認定資格とメンバーシップは、次のサイクルへと自動的に更新されます。

CPE監査

ISC2本部は、提出されたCPEアクティビティのランダム監査を実施します。これは、認定資格に関するANSI/ISO規格への準拠を維持するためです。

注意：ISC2より提供されたCPE自動付与対象のアクティビティ参加によって取得したCPEクレジットは、監査から免除されます。

重要ポイント:

CPEアクティビティを提出するときは、1回の申請で、保有する全ての資格から関連するドメイン全てを選択します。監査を合理化するために、CPEクレジットを提出するときは、常にCPEアクティビティの証明を文書化し、アップロードしてください。

猶予期間

- 認定サイクルの終了日までにCPE + 年会費（AMF）の要件を満たさない場合は、更に90日間、全ての未申請クレジットを提出するための猶予期間があります。
- 最終締め切り日に間に合わなかった場合、認定とメンバーシップは停止されます。
- ステータスが失効するまで、2年間停止された状態になります。

重要ポイント:

締切日までに、CPE要件を満たすことが難しい場合はお問い合わせください。カスタマーサービスチームがサポートします！

CPEカテゴリー

CPEポータルにログインしてCPEクレジットを提出すると、4つのカテゴリーオプションが表示されます。

専門職への貢献
グループAまたは
グループB

グループA：認定資格のドメインに関連する、または一般的なトピック(グループB)で、あなたが開発または提供した新しい教育コンテンツ。

例：執筆、書籍の調査、ウェブキャストの準備、試験開発、ボランティア活動など。

自動提出されたISC2
アクティビティも可

教育
グループAまたは
グループB

グループA：認定資格のドメインに関連するトピック、または一般的なトピック(グループB)で自主学習で費やした時間。

例：書籍、雑誌、ホワイトペーパーを読む。学位コース、業界カンファレンス、ISC2認定資格のトレーニングなどへの参加。

自動提出されたISC2
アクティビティも可

専門能力開発
グループBのみ

専門スキルの向上に関する活動。

例：リーダーシップ研修、対人コミュニケーション講座、プロジェクトマネジメント研修等

自動提出されたISC2
アクティビティも可

独自性の高い業務経験
最大10クレジット
グループA

日常業務の範囲外にある独自のプロジェクトや課題に関連し、勤務時間中に行われる活動。

ISC2 CPE アクティビティ

以下のすべての学習リソースは、継続的な教育と専門能力開発を念頭に、ISC2によって開発されました。これらのアクティビティのCPEクレジットは、通常、学習1時間ごとに1CPEが付与され、メンバーアカウントに自動的に適用されます。学習とCPE獲得をスタートするには、各アクティビティをクリックし、ソースに直接移動してください。



Certificates



Courses



Security Congress



Secure & Spotlight イベント



Webinars



CPE Partner イベントを参照ください。



公式オンライン認定資格トレーニング



Newsと Insights Quiz



Blog記事の 寄稿



ISC2 Chapter



試験問題の開発



ボランティアの機会
ISC2と the Center
for Cyber Safety
and Education

重要なポイント

- CPEクレジットの獲得と提出を遅らせないでください。認定資格の更新を容易にするため、毎月3時間を目標にしてください。
- CPEアクティビティのログ（デジタルまたは物理的に）を管理 - 日付、タイトル、期間等。ポータルサイトへの入力を容易にするため1つのソースを入力。
- ISC2の自動提出は、アカウントに反映されるまで、最大4〜6週間かかる場合があります。
- ISC2 BrightTALK webinarには、事前にメンバーIDを登録してください。後でIDを追加することができないため、CPEを各自で提出することになります。
- 提出されたアクティビティが、保有している複数のISC2認定資格に関連する場合は、提出時に、すべての認定資格から関連ドメインを選択してください。
- 締切直前でのCPEクレジットの提出は避けてください。監査により認定の更新が遅れる可能性があります。
- CPEの対象となる活動は、教育以外にも、プレゼンテーション、ボランティア活動、会議、記事執筆など、数多く存在します。全リストについては、CPEハンドブックをご確認ください。

総合的なCPEクレジットガイドについて

ISC2 CPEハンドブックをダウンロード



CPEクレジットの提出準備はできましたか？

CPE ポータルにログイン



ご質問はありますか？

お問い合わせ

